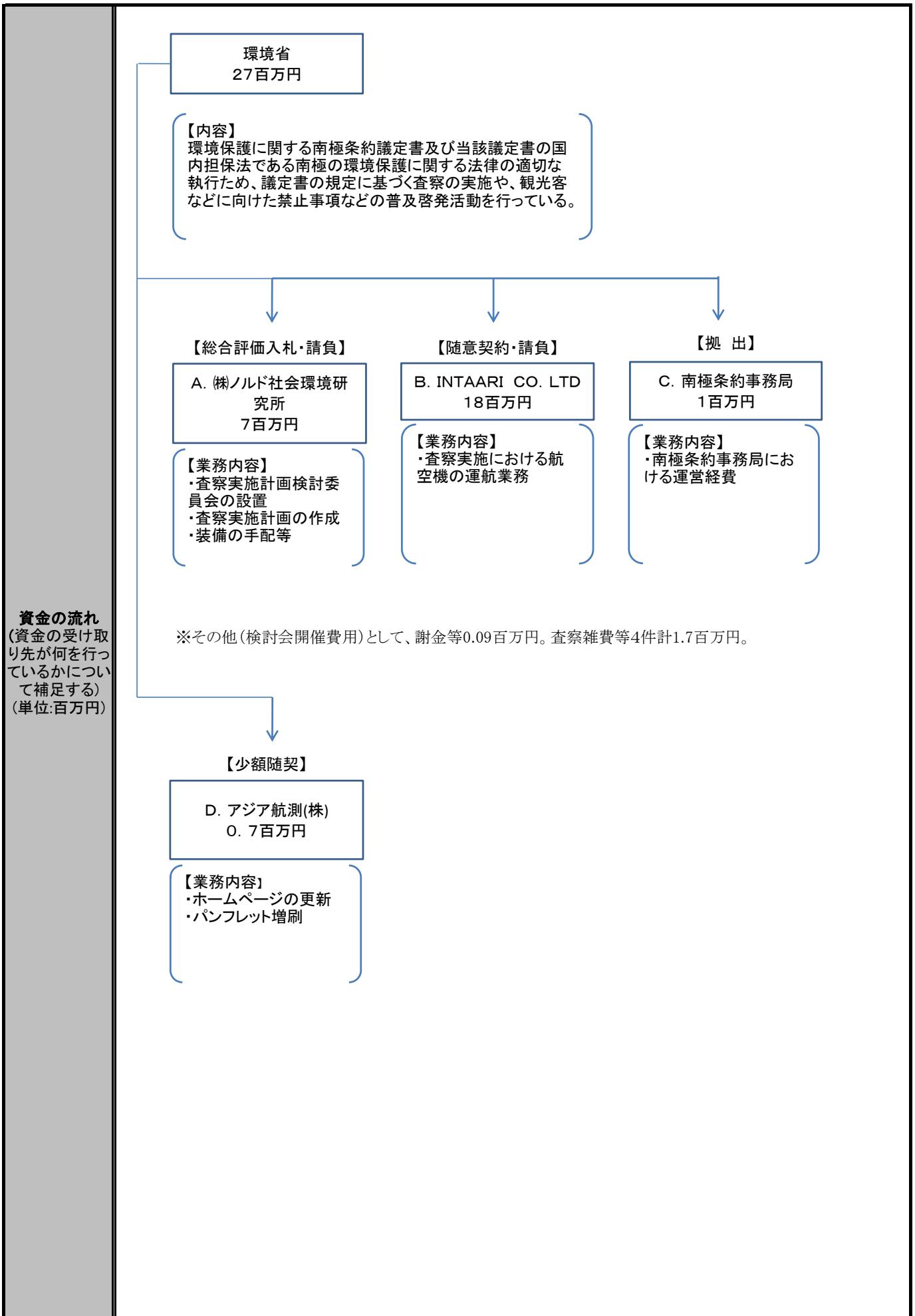


## 行政事業レビューシート (環境省)

予算事業名	南極地域自然環境保全対策費等		事業開始年度	平成9年度	作成責任者
担当部局庁	地球環境局		担当課室	環境保全対策課	課長 瀬川 俊郎
会計区分	一般会計		上位政策	地球環境の保全	
根拠法令 (具体的な条項も記載)	環境保護に関する南極条約議定書第14条 南極地域における環境の保護に関する法律第8条第4項等		関係する計画、通知等	南極条約及び環境保護に関する南極条約議定書	
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	環境保護に関する南極条約議定書の遵守、及び、国内担保法である「南極地域の環境の保護に関する法律」を適切に執行すること。				
事業概要 (5行程度以内。別添可)	南極地域の環境の保護にかかる国際条約上の義務の履行及び国内制度の円滑な運用を行うため、確認申請において提出される環境影響評価書について、学識経験者からなる委員会を設置し、環境影響評価書の審査に必要な情報の収集、整理を実施する。併せて、制度の周知を図るためパンフレットの配布及びHPの更新を行う。また、同議定書に基づく査察を実施し、他国における議定書の遵守状況を確認し南極条約協議国会議において発表することで、議定書の遵守を図り南極条約の原署名国の1つとして国際的責任を果たす。				
実施状況	第51次南極地域観測隊について、南極環境保護法に基づき申請があり、当該申請内容の内南極環境への影響が懸念される活動内容について、学識経験者からなる委員会を平成21年9月8日に設置し、環境への影響について検討し、この検討結果に基づいて平成21年10月26日付けで申請の確認を行った。併せて、パンフレットを作成し、また、HPを更新することで届出書の必要性や、南極地域において守らなくてはならないルールなどの周知徹底を図った。また、平成22年1月、2月において我が国初の査察を実施し、5月に開催された第33回南極条約協議国会議にて概要を発表した。				
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度
	予算額(補正後)	29	38	37	10
	執行額	25	28	27	
	執行率	86%	74%	73%	
	総事業費(執行ベース)	25	28	27	
自己点検	支出先・使途の把握水準・状況	請負業者と電話やメールなどにて適宜連絡を取り、検討会の資料作成について確認し必要に応じて作業の指示を出し、開催された検討会及び査察へも環境省職員が出席及び同行し、業務の実施状況について十分に把握している。			
	見直しの余地	次回査察を実施する際、今回初めて実施した査察の内容を踏まえ、請負業務の内容や、人員構成、査察期間、査察の交通手段等を検討し、より効率的な査察実施計画を検討する。引き続きモニタリング試料の分析業務等について、分析項目及び検体数等を検討しより効率的な分析を行うとともに、競争性のある契約を実施し、事業の進捗状況を隨時把握する。			
予算監視・効率化チームの					
補記					



費目・使途 （「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出さ れている者に ついて記載す る。使途と費目 の双方で実情 が分かるように 記載）	A. (株)ノルド社会環境研究所			E.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	雑役務費	検討会の実施及び査察の補助経費	7			
	計		7	計		0
費目・使途 （「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出さ れている者に ついて記載す る。使途と費目 の双方で実情 が分かるように 記載）	B. INTAARI CO. LTD			F.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	雑役務費	査察実施における航空機の手配経費	18			
	計		18	計		0
費目・使途 （「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出さ れている者に ついて記載す る。使途と費目 の双方で実情 が分かるように 記載）	C. 南極条約事務局			G.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	拠出金	南極条約事務局拠出金	1			
	計		1	計		0
費目・使途 （「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出さ れている者に ついて記載す る。使途と費目 の双方で実情 が分かるように 記載）	D. アジア航測(株)			H.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	雑役務費	普及啓発業務	0.7			
	計		1	計		0